

常盤西小学校の森林授業

作成 裏川 照雄

2010年10月17日(日)

1. 開催場所 : 四日市市常盤西小学校
2. 開催日 : 2010年10月17日 8:30~11:00
3. 参加者 : 水野、南条、清水、裏川
4. 主催 :
5. 協働参加者 :
6. 内容 : 学校林の木々に名札を掛ける



大杉谷自然学校の大西さんをリーダーに、4チーム。

森林の風は20家族40数名を担当した。木の名札は予定時間から考えて35枚用意していた。

9時半に挨拶・紹介ののち、早速学校の裏山にあたる「吉田山」に入った。

写真は、「どうして今年はどんぐりが少ないか？」を説明しているところ。(答えは、花が咲く直前に東京でも雪が降るなどの冷害を受けたため。それと去年は豊作で今年は裏年なのか。このため全国で木の話題がたくさん出ています。)

吉田山はハンノキ、カクレミノ、ヒサカキ、カシ類が多い。シラカシか、ウラジロカシ、アラカシか？木の判別は非常に悩ましい。モチノキの同定は森林コーディネーターとも協議して、モチノキと判定。

とにかく子どもたちはカクレミノを「ゲーチョキパーの木！」と呼んだり、どこにカブトムシが多くいるか教えてくれたりと、学校林があることを満喫している。

(講師役に対して参加者が多く、皆さんが一斉に「これ何？」なんて聞かれると私も頭の中が混乱しました。もう少し特徴などを説明したかったのですがほとんど不可でした)

吉田山に多いハンノキ (鋸歯の先に針がある) 悩んだ末のモチノキ

